

【遠隔研修】 R002. C言語プログラミングの基礎

1. 研修要領

・研修場所	NISA研修室
・研修受講料	20,000 円(税別)
・テキスト代	受講料に含む
・研修実施時間	9:00 ~ 16:30 (1日=6.5時間)
・研修実施日	平成24年7月18日(水)・19日(木)・20日(金)
・講師	富士通ラーニングメディア講師
・定員	10名

2. 対象者

- ・C言語を用いてプログラミングを担当する方。
- ・前提条件: コンピュータの基礎知識がある方。

3. カリキュラムの概要

C言語の基本的なプログラミング方法を学習します。

4. カリキュラムの詳細(19.5時間)

3日間

科目	時間	科目の内容
第1章 C言語の概要	1.0	・C言語の特徴 ・プログラムの記述方法 ・プログラムの作成から実行までの流れ
第2章 C言語で扱うデータ	2.0	・C言語で扱うデータの種類 ・数値を扱うプログラム ・文字を扱うプログラム
第3章 制御文 I (条件分岐)	1.5	・流れを制御する文とは ・if 文により分岐する方法 ・switch 文により分岐する方法
第4章 制御文 II (繰り返し)	1.5	・while 文により繰り返す方法 ・for 文により繰り返す方法
第5章 関数	1.5	・関数とは ・関数を定義したプログラム
第6章 配列	1.5	・配列を使用したプログラム ・配列とは ・配列の宣言 ・配列を参照する方法 ・値の交換
第7章 ポインタ	3.0	・ポインタとは ・アドレスの操作方法 ・ポインタを使用したプログラム ・アドレス計算により配列を参照するプログラム
第8章 文字列	2.0	・文字列とは ・文字列を操作する標準関数 ・文字列を処理するプログラム
第9章 構造体	2.5	・構造体とは ・構造体を使用したプログラム ・構造体をアドレスで参照するプログラム ・構造体配列を使用したプログラム
第10章 マクロ定義とファイルの取り込み	1.0	・マクロ定義 ・ファイルの取り込み ・プリプロセッサ
第11章 ファイルの入出力	2.0	・ファイルの入出力を行うプログラム ・ファイルオープンの手続き ・ファイルから1文字読み込む関数 ・ファイルへ1文字書き出す関数 ・ファイルクローズ
	19.5	

5. 使用教材

受講者用PC、C言語プログラミングの基礎(富士通ラーニングメディア)

6. 到達目標

本コース修了後、次の事項ができることを目標としています。

1. C言語で作成されたプログラムを読む。
2. C言語の標準的な機能(関数、ポインタ、構造体)を利用してプログラムを作成する。
3. 標準入出力命令を使用してプログラムを作成する。
4. C言語の特徴(構造化)を活かしたプログラムを作成する。

7. 注意事項

本コースは、「C言語プログラミングの基礎」コースの遠隔研修版です。遠隔研修とは、スタジオにいる講師の講義を、インターネットを介してNisa研修室でライブで受講する形態の研修です。